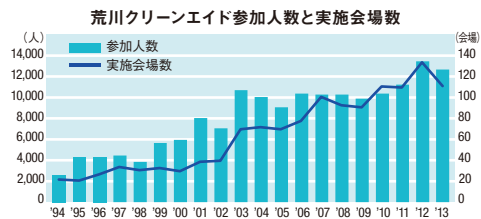


みんなで始めよう!

広げよう! 「調べるゴミ拾い」の輪!

1994年に約2,600名でスタートした荒川クリーンエイドは、2013年には11,559名が参加し、荒川流域の122ヵ所もの場所で活動が行われるに至っています。



市民団体や自治体、企業、そして学校など、様々な団体とネットワークして、活動を通してカバーしているのは荒川の源流から河口まで。また、荒川だけでなく、全国の川に「調べるゴミ拾い」の輪が広がるよう、「全国川ごみネットワーク」というしくみも始まっています。

スタートするのは簡単。長年の活動実績をもとにしたノウハウもありますので、「面白そう」「やってみたい!」と思った方は、まずはお気軽にお問合せください。

さまざまな団体の声

～「調べるゴミ拾い」の良いところ～

◆ 企業 ◆

ゴミが自然に与える影響を直に感じることで、環境問題への関心が高まること。職場の同僚との一体感を醸成できるとも良い機会です。

りそな銀行首都圏地域

◆ 学校 ◆

自然との触れ合いを通して、子どもたちにとって荒川は単なるボール遊びをする芝生広場でなく、大切な自然がある場所になりました。

江戸川区立平井小学校

◆ 自治体 ◆

身近な川に親しみを持ち、川を大切にしようとする意識を高める第一歩として、気軽に参加できる活動。

江東区

◆ 市民団体 ◆

誰もが出している「ゴミ」を調べて拾うという活動を通して、社会の問題、環境の問題を自分の問題として直接考えるきっかけができる場所。

江戸川・生活者ネットワーク

広げよう「全国川ごみネットワーク」

2013年現在、荒川流域の他、山形県、新潟県、大阪府、京都市などで「調べるゴミ拾い」が行われ始めています。



みんなで始めよう!

未来をつくるのは、私たち。

拾っても拾ってもなくなる川のゴミ。ゴミは人間が出したものに他なりません。川や海を汚し地球環境を痛めつけるゴミの問題を解決するには、ゴミのポイ捨てや不法投棄を抑制するとともに、社会のゴミそのものを減らす、つまり、ゴミをできるだけ生まない循環型のライフスタイル、社会にシフトしていくことが必要です。

「調べるゴミ拾い」は、川のゴミを拾いながら、ゴミを生まない行動を促す、啓発を伴った環境活動です。市民、学校、企業、行政などさまざまな主体がこの問題の重大性に気づき、ともに行動し、問題解決に向かうことが重要となっています。まずは、「調べるゴミ拾い」を体験してみてください。そして、ゴミのない未来の地球をいっしょに創っていきましょう!

◆ 「調べるゴミ拾い」に参加してみよう! ◆

川や海のゴミ問題の現状を実感

ゴミを減らす方法を考え、行動しよう!

個人生活で、会社で、地域で、まずはできることからアクション

つながり、共に解決に向かおう!

啓発、ルール作り、仕組みづくりを

ゴミのない未来の川、海、地球
自然と共生する循環型の社会を目指そう!